

# トラベラーズワクチン講習会受講者を対象とした ワクチン診療に関するアンケート調査

第15回日本渡航医学会 学術集会(2011年札幌)

○氏家無限, 新藤琢磨, 山元佳, 竹下望  
加藤康幸, 金川修造

独立行政法人 国立国際医療研究センター  
国際疾病センター

# 背景・目的

- トラベラーズワクチン(以下TV)は渡航者における大切な一次予防の手段であるが、国内における診療の実態は明らかでない。
- 国内におけるワクチン診療の実態について調査する。



# 方法

- 2011/5/29当センターで実施された、第1回TV講習会に参加した医療従事者97人を対象に、TV診療の実態に関するアンケート調査を無記名にて行った。
- 受講者は、渡航者に対する感染症予防のための指導やワクチン接種業務に携わる、または関心を持つ医療従事者とした。

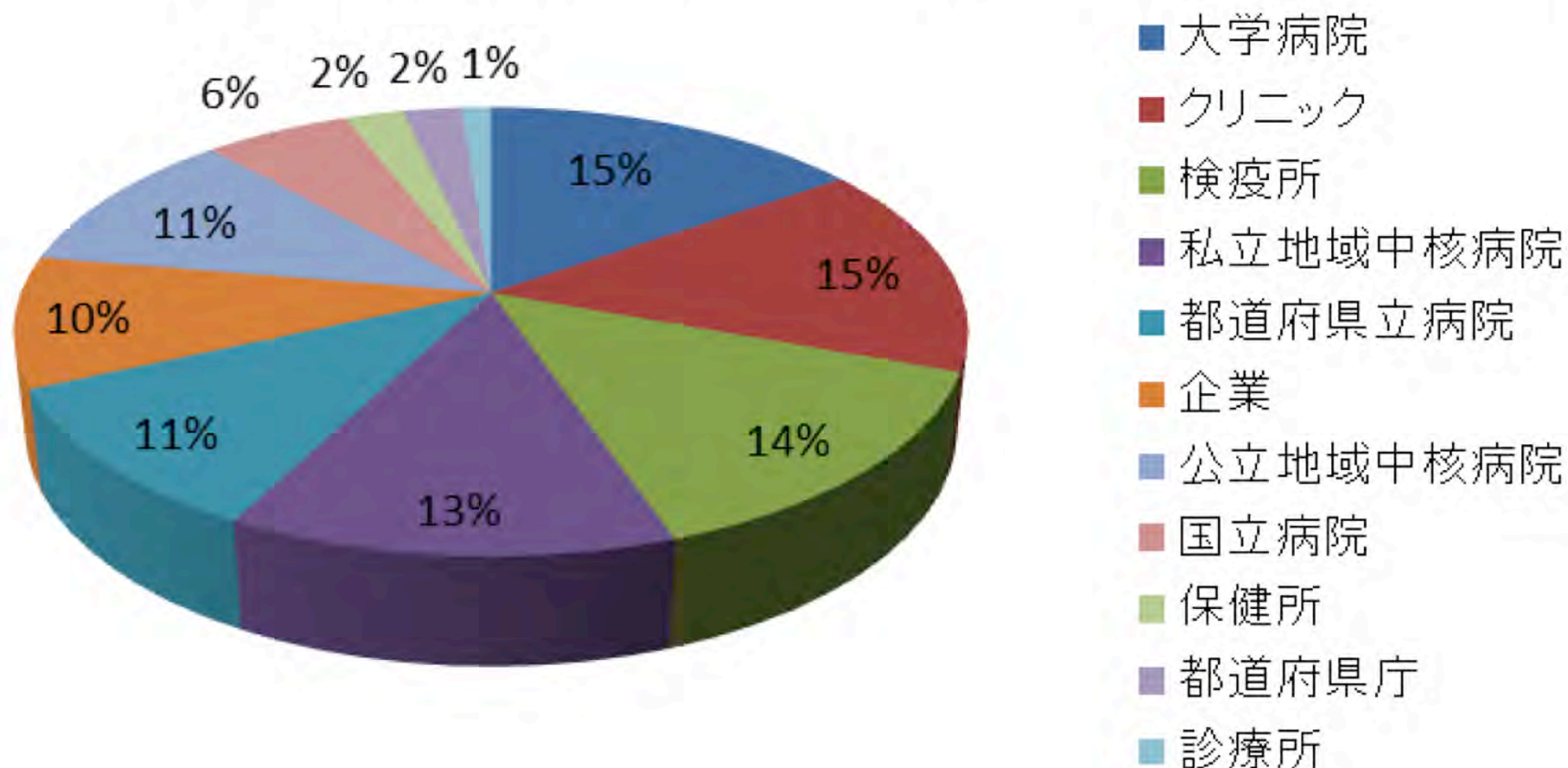
第1回

## トラベラーズワクチン 講習会

2011/5/29 (日)

会場：国立国際医療研究センター

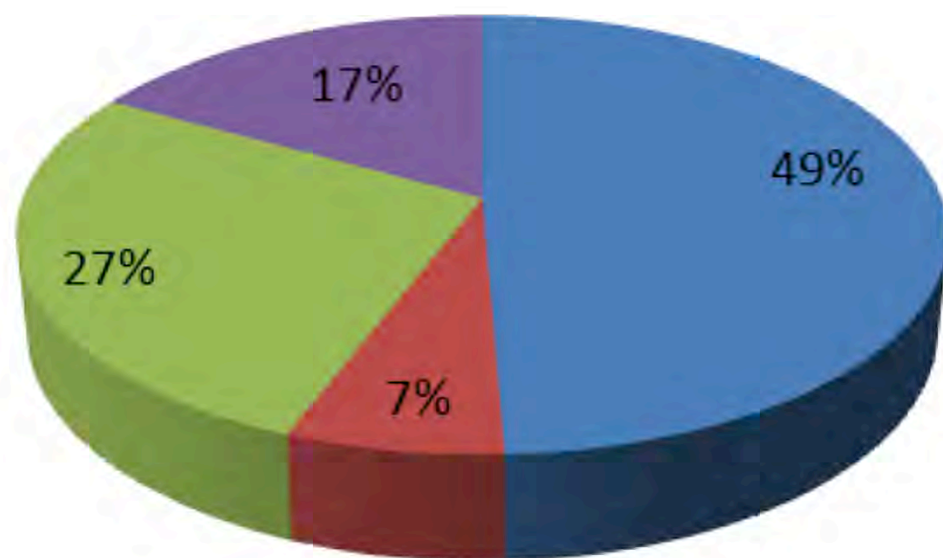
## 参加者の所属機関内訳 (n=85)



アンケート回収: 89/97人 (91.8%)

参加者内訳: 医師76名、看護師18名、薬剤師3名

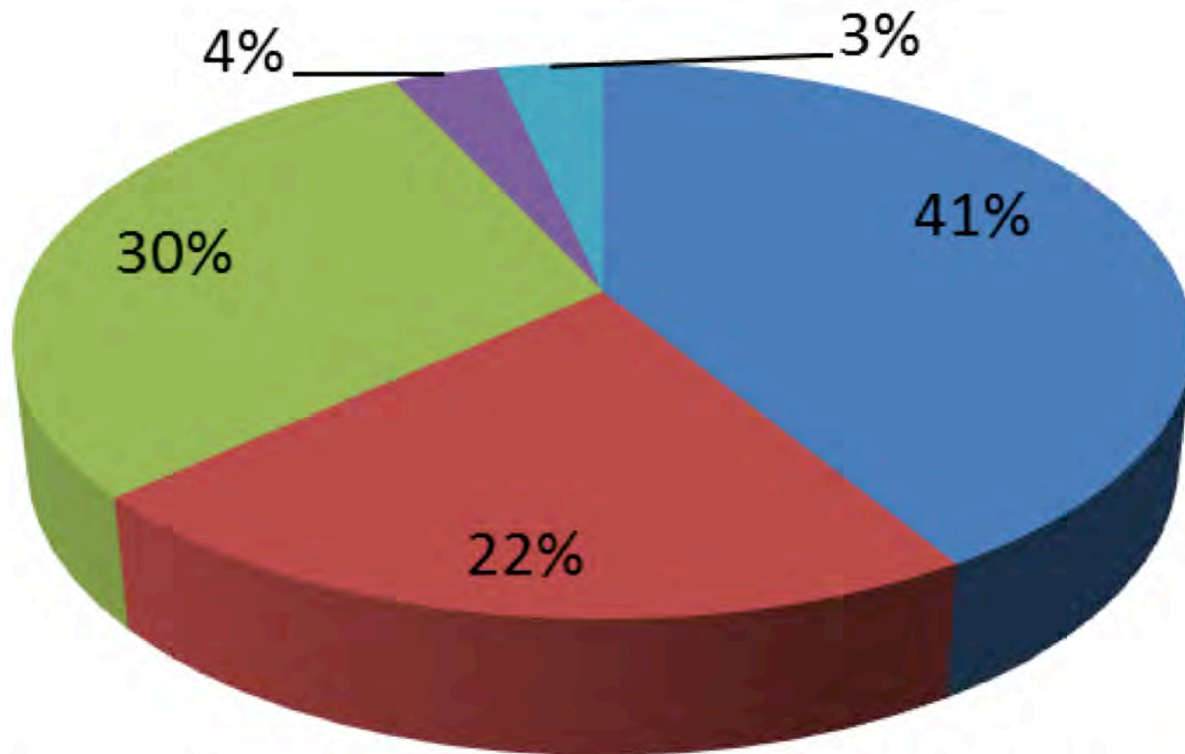
# ワクチン接種や相談を行うための ワクチン外来の有無 (n=77)



- 所属施設の所属部署にある
- 所属施設の外部署にある
- ワクチン外来がないため適切な施設を紹介
- 医療圏にワクチン外来がない

# Q. ワクチン接種について 助言を求められることがありますか？

n = 87



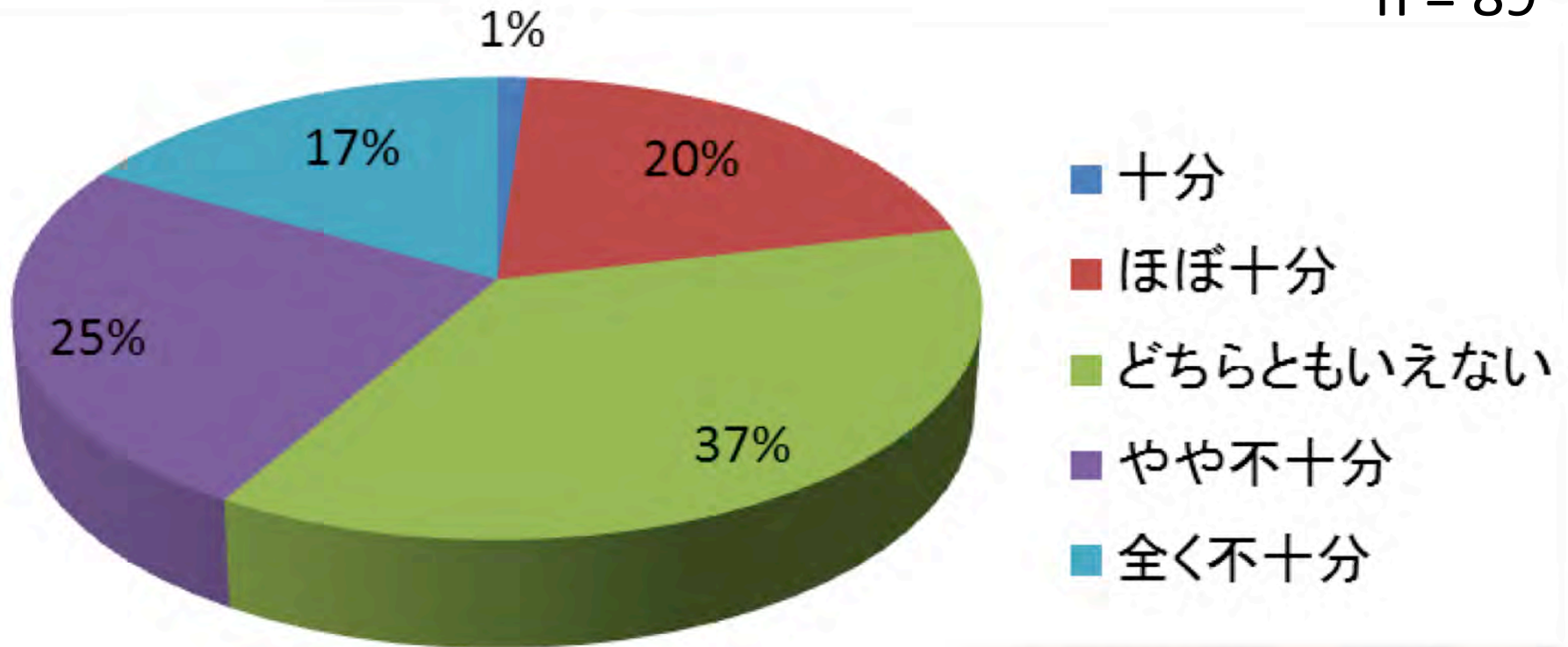
- 業務として日常的にある
- 時々ある
- 全くない

- たびたびある
- ほとんどない



# Q. 自身のワクチンに関する知識は？

n = 89



# ワクチン診療で必要だと感じるもの

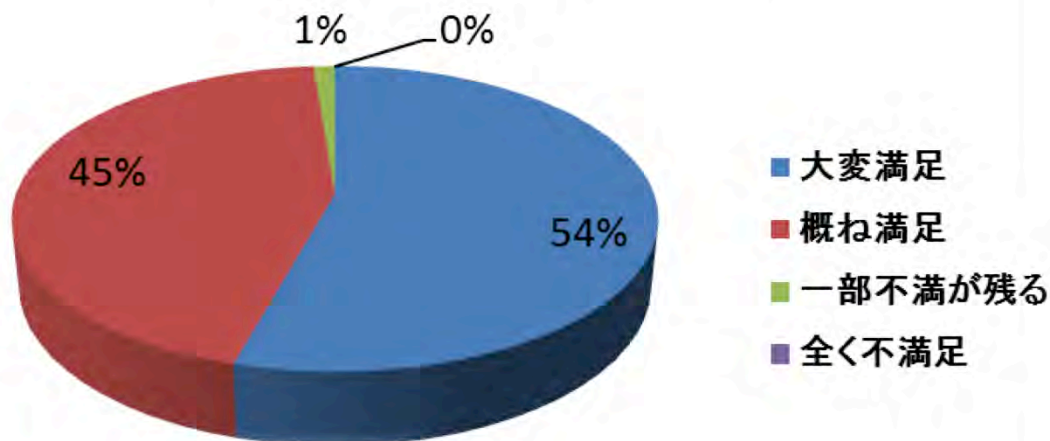
n = 89

選択枝	回答数
研修などの機会	63(70.8%)
最新の知見・疫学情報	58(65.2%)
適切なワクチン接種機関の情報	47(52.8%)
ワクチン接種機関同士のネットワーク	46(51.7%)
配布する教育資料・パンフレット	45(50.1%)
診療に関するガイドラインや教科書	42(47.2%)

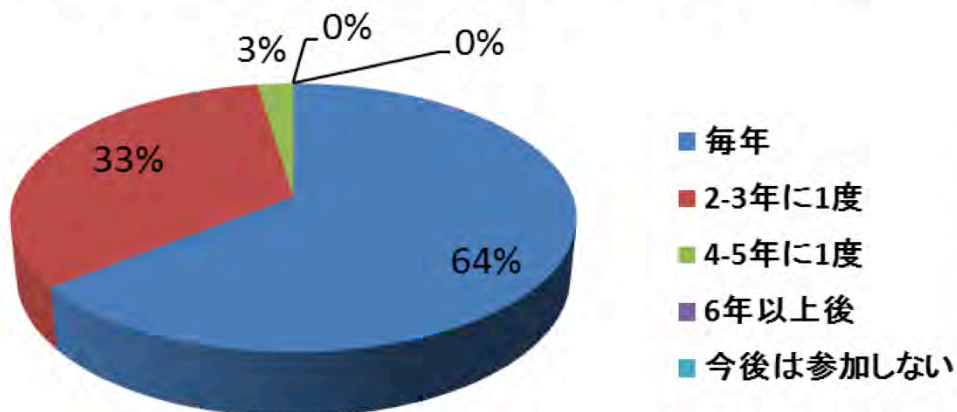
その他(行政の支援、マスコミの正しい情報、教育の機会、スタッフの協力、指導の均一化)

# 第1回TV講習会に関する回答

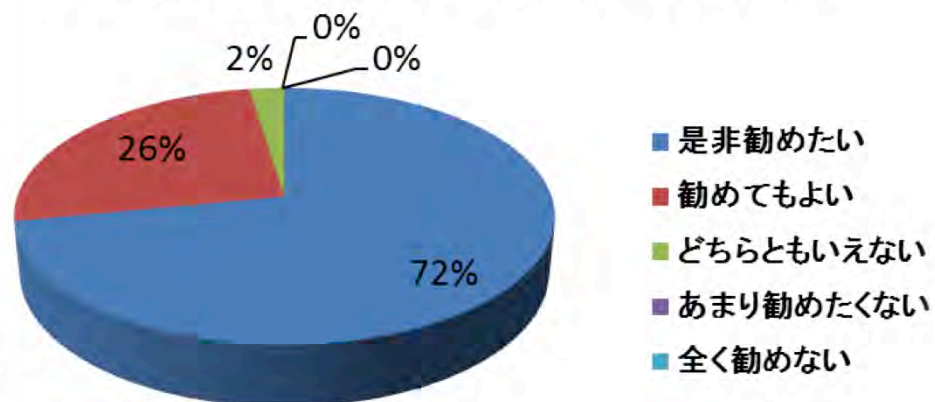
## 満足度について (n=81)



## 講習会に再度参加したい頻度 (n=84)



## 講習会参加を同僚に勧めるか (n=82)



# まとめ

- TV講習会受講者の所属機関でもワクチン診療のための外来がない割合が半数近い
- 外来診療業務以外にも、情報提供が求められることが半数以上にある(52%)
- ワクチンの知識が不十分であると考える人が半数近い(42%)
- ワクチン診療に、研修や情報収集のための機会が求められている

# 結論

- 本アンケート調査から、ワクチン診療において、TVの情報や知識の必要性が高い一方で、それに対する診療体制が十分ではないことが示唆された。
- 今後も、学会や研究会・講習会等を通して、ワクチン診療の質・量の拡充が望まれる。
- 我々は渡航に関連したワクチン診療のための知識の普及、医療従事者のネットワーク構築を目的に今後も講習会を継続する。